



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月13日
東

上場会社名 セイコーグループ株式会社

上場取引所

コード番号 8050

URL <https://www.seiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 修司

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 南 正宣 (TEL) 03-3563-2111

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	74,040	17.6	5,104	80.8	5,415	45.1	3,492	44.8
2024年3月期第1四半期	62,949	1.4	2,823	△9.1	3,732	△8.0	2,411	41.2

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 7,174百万円(△21.4%) 2024年3月期第1四半期 9,130百万円(33.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	85.66	-
2024年3月期第1四半期	58.43	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	385,819	156,678	40.0
2024年3月期	376,262	151,334	39.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 154,379百万円 2024年3月期 149,100百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	37.50	-	42.50	80.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	45.00	-	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	306,000	10.5	18,000	22.1	18,000	13.2	11,500	14.4	281.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	41,404,261株	2024年3月期	41,404,261株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期1Q	578,832株	2024年3月期	639,870株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	40,774,468株	2024年3月期1Q	41,275,959株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(会計方針の変更)	P. 9
(セグメント情報)	P. 10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日～6月30日)における世界経済は、高インフレが継続する中で金融引き締め状況が継続しています。米国は、減速懸念がある中で雇用や消費を中心に堅調に推移しているものの、欧州は、物価高騰が続く中で消費などが弱く回復の足踏み状態が続いています。中国は、小売や不動産が緩やかに回復しつつあるものの、住宅投資など一部に弱さが残ります。

わが国の経済は、インフレ下で個人消費を中心に回復に足踏みがみられるものの、円安の影響もありインバウンド需要はコロナ禍前の水準まで回復してきています。

(単位：百万円)

	2023年3月期 第1四半期 累計期間(a)	2024年3月期 第1四半期 累計期間(b)	2025年3月期 第1四半期 累計期間①	前々年同期 増減 ①ー(a)	前年同期 増減 ①ー(b)
売上高	62,078	62,949	74,040	11,961	11,090
営業利益	3,105	2,823	5,104	1,999	2,281
%	5.0%	4.5%	6.9%	1.9pt	2.4pt
経常利益	4,056	3,732	5,415	1,358	1,683
%	6.5%	5.9%	7.3%	0.8pt	1.4pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,707	2,411	3,492	1,785	1,081
%	2.8%	3.8%	4.7%	1.9pt	0.9pt
換算レート					
USD(円)	129.7	137.5	155.9	26.1	18.4
EUR(円)	138.3	149.6	167.8	29.6	18.3

このような中、エモーショナルバリューソリューション事業では、国内市場向けのウォッチ事業、和光事業が、インバウンド需要もあり大きく売上高を伸ばし、海外市場向けのウォッチ事業も、欧州地域を中心に売上高は前年同期を上回りました。デバイスソリューション事業は、前年度第4四半期ごろから一部の製品で調整局面から回復しつつあり、売上高は前年同期を上回りました。システムソリューション事業は、多角化やストックビジネス拡大への取組みが引き続き奏功して、前年同期を上回る売上高となりました。その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、740億円(前年同期比17.6%増)となりました。

連結全体の国内売上高は395億円(同20.4%増)、海外売上高は345億円(同14.6%増)となり、海外売上高割合は46.6%でした。

当第1四半期連結累計期間の広告宣伝販促費は前年同期に対して約10%増加し、販売費及び一般管理費は前年同期から29億円の増加となりました。営業利益は、エモーショナルバリューソリューション事業が牽引し、前年同期から22億円増加の51億円(同80.8%増)となりました。営業外収支は為替差益や持分法による投資利益の減少等により前年同期から悪化し、経常利益は前年同期を16億円上回る54億円(同45.1%増)となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、10億円増加の34億円(同44.8%増)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の平均為替レートは1米ドル155.9円、1ユーロ167.8円でした。

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

① エモーショナルバリューソリューション事業 (EVS事業)

EVS事業の売上高は前年同期比76億円増加の499億円（前年同期比18.1%増）となりました。

国内のウォッチは、高級品市場が活況でインバウンドの後押しもあり、「グランドセイコー」、「セイコープロスペック」をはじめとするグローバルブランドが好調に推移し、前年同期から売上高を大きく伸ばしました。また海外でも、「セイコープレザージュ」が牽引し、売上高は前年同期から増加しました。ウォッチムーブメントの外販ビジネスについても堅調に推移し、売上高は前年同期から増加しました。

和光事業の売上高は、引き続き好調なインバウンド需要もあり前年同期から増加しましたが、クロック、スポーツ・ファシリティ事業は、前年同期並みで推移しました。

営業利益は前年同期から23億円増加し58億円（同66.8%増）となりました。

② デバイスソリューション事業 (DS事業)

DS事業の売上高は前年同期比11億円増加の150億円（前年同期比8.1%増）、営業利益は前年同期比3億円増加の5億円（同229.6%増）となりました。

前年度第4四半期ごろより調整局面からの回復傾向にあった水晶や、前年度まで低迷していた半導体製造装置向け高機能金属などを中心に売上高が増加し、前年同期から増収増益となりました。

③ システムソリューション事業 (SS事業)

SS事業の売上高は前年同期比21億円増加の114億円（前年同期比22.9%増）、営業利益は前年同期比84百万円増加の11億円（同7.8%増）となりました。

IoT関連ビジネスの伸長や、前年度第4四半期に実施したM&Aによる収益貢献もあり、33四半期連続で対前年同四半期比増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は3,858億円となり、前年度末に比べて、為替による影響も含め95億円の増加となりました。流動資産では、現金及び預金が30億円、棚卸資産が39億円増加したことなどにより、流動資産合計は前年度末より70億円増加し1,817億円となりました。固定資産では、有形固定資産が24億円増加したことなどにより、固定資産合計は前年度末と比べ25億円増加の2,040億円となりました。

(負債)

負債につきましては、短期借入金が97億円増加、長期借入金が59億円減少し、借入金合計は1,216億円となりました。未払金が38億円減少するなどしましたが、支払手形及び買掛金が37億円増加したことなどにより、負債合計は前年度末と比べ、為替による影響も含め42億円増加の2,291億円となりました。

(純資産)

純資産につきましては、株主資本が19億円増加し、また為替換算調整勘定が42億円増加したことなどから、合計でも前年度末と比べ53億円増加の1,566億円となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間では、EVS事業が前年同期と比べ大幅な増収増益となり、DS事業とSS事業も堅調に推移しました。第2四半期以降についても、業績は引き続き順調に推移する見通しであることから、通期連結業績予想および通期セグメント別業績予想について、下記のとおり修正いたします。

【通期連結業績予想】

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2024年5月14日)	300,000	17,000	17,000	11,000	269.84
今回修正予想(B)	306,000	18,000	18,000	11,500	281.78
増減額(B-A)	6,000	1,000	1,000	500	11.94
増減率(%)	2.0	5.9	5.9	4.5	4.4

【通期セグメント別業績予想】

単位：億円

	売上高		営業利益	
	今回予想	前回	今回予想	前回
エモーショナルバリューソリューション事業	2,010	1,960	200	190
デバイスソリューション事業	650	635	30	30
システムソリューション事業	505	505	58	58
事業別合計	3,165	3,100	288	278
その他	10	10	1	1
連結合計	3,060	3,000	180	170

(注) 連結合計はセグメント間の内部売上高消去等、連結調整後の数値です。

※ 上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,683	35,736
受取手形、売掛金及び契約資産	45,496	45,294
棚卸資産	84,382	88,355
未収入金	4,377	3,663
その他	9,173	10,226
貸倒引当金	△1,419	△1,547
流動資産合計	174,694	181,728
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	82,230	84,100
機械装置及び運搬具	91,948	94,128
工具、器具及び備品	42,617	44,197
その他	15,609	17,863
減価償却累計額	△172,067	△177,286
土地	54,144	54,307
建設仮勘定	1,553	1,205
有形固定資産合計	116,037	118,516
無形固定資産		
のれん	8,029	7,670
その他	10,159	10,668
無形固定資産合計	18,189	18,339
投資その他の資産		
投資有価証券	56,374	55,222
繰延税金資産	1,984	2,198
その他	9,131	9,964
貸倒引当金	△148	△150
投資その他の資産合計	67,341	67,234
固定資産合計	201,568	204,090
資産合計	376,262	385,819

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,500	25,217
電子記録債務	8,085	7,825
短期借入金	64,350	74,145
1年内返済予定の長期借入金	21,727	19,995
未払金	15,291	11,464
未払法人税等	4,678	2,457
賞与引当金	5,097	3,117
その他の引当金	1,030	1,000
資産除去債務	647	548
その他	23,050	26,688
流動負債合計	165,460	172,460
固定負債		
長期借入金	31,674	27,463
繰延税金負債	6,912	6,653
再評価に係る繰延税金負債	3,614	3,614
その他の引当金	732	746
退職給付に係る負債	6,135	6,143
資産除去債務	494	503
その他	9,903	11,554
固定負債合計	59,467	56,680
負債合計	224,927	229,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	7,245	7,256
利益剰余金	88,465	90,201
自己株式	△1,584	△1,430
株主資本合計	104,126	106,027
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,820	16,803
繰延ヘッジ損益	△74	△70
土地再評価差額金	8,190	8,190
為替換算調整勘定	18,290	22,494
退職給付に係る調整累計額	746	935
その他の包括利益累計額合計	44,974	48,352
非支配株主持分	2,234	2,298
純資産合計	151,334	156,678
負債純資産合計	376,262	385,819

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	62,949	74,040
売上原価	35,442	41,340
売上総利益	27,506	32,699
販売費及び一般管理費	24,682	27,594
営業利益	2,823	5,104
営業外収益		
受取利息	93	112
受取配当金	507	458
為替差益	458	243
その他	553	172
営業外収益合計	1,613	987
営業外費用		
支払利息	320	343
その他	384	334
営業外費用合計	705	677
経常利益	3,732	5,415
税金等調整前四半期純利益	3,732	5,415
法人税等	1,130	1,690
四半期純利益	2,601	3,724
非支配株主に帰属する四半期純利益	190	231
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,411	3,492

四半期連結包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	2,601	3,724
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,010	△1,158
繰延ヘッジ損益	△235	3
為替換算調整勘定	4,323	4,089
退職給付に係る調整額	△95	178
持分法適用会社に対する持分相当額	△474	337
その他の包括利益合計	6,528	3,450
四半期包括利益	9,130	7,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,859	6,870
非支配株主に係る四半期包括利益	270	303

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エモーシ ナルバ リユー ソリュ ション 事業	デバイ スリ ユー ショ ン事 業	システ ムソ リュ ーシ ョ ン事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	41,655	12,683	8,407	62,746	97	62,843	105	62,949
セグメント間の内部 売上高又は振替高	665	1,240	912	2,818	171	2,990	△2,990	—
計	42,320	13,923	9,320	65,564	269	65,834	△2,884	62,949
セグメント利益	3,487	172	1,077	4,737	56	4,794	△1,970	2,823

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。
2. 調整額は以下のとおりであります。
- (1) 外部顧客への売上高の調整額105百万円は、事業セグメントに帰属しない本社部門におけるロイヤリティ収入であります。
- (2) セグメント利益の調整額△1,970百万円には、のれんの償却額△141百万円、セグメント間取引消去等72百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△1,900百万円が含まれております。全社費用の主なものは、事業セグメントに帰属しない本社部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エモーシ ナルバ リユー ソリュ ション 事業	デバイ スリ ユー ショ ン事 業	システ ムソ リュ ーシ ョ ン事 業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	49,277	13,971	10,580	73,829	93	73,923	116	74,040
セグメント間の内部 売上高又は振替高	715	1,075	872	2,664	176	2,840	△2,840	—
計	49,993	15,047	11,453	76,493	269	76,763	△2,723	74,040
セグメント利益	5,816	569	1,161	7,547	51	7,599	△2,494	5,104

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シェアードサービス事業等を含んでおります。
2. 調整額は以下のとおりであります。
- (1) 外部顧客への売上高の調整額116百万円は、事業セグメントに帰属しない本社部門におけるロイヤリティ収入であります。
- (2) セグメント利益の調整額△2,494百万円には、のれんの償却額△141百万円、セグメント間取引消去等△126百万円、各事業セグメントに配分していない全社費用△2,226百万円が含まれております。全社費用の主なものは、事業セグメントに帰属しない本社部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	3,095百万円	3,711百万円
のれんの償却額	299百万円	359百万円